

2024年度

中学校卒業式・後期終業式

主が共にいて

黄色の皆さん、卒業おめでとうございます。  
また赤、紫、青、オレンジの皆さんも後期、  
一年間の学びを終えられました。共に終業の  
時を迎えられたことを感謝しましょう。

そしてご臨席を賜りましたご家族の皆様、  
教職員一同最善を尽くしておりますが、どう  
か至らなかつた点をおゆるしいただき、本日は  
皆様とご一緒にお嬢様の成長を喜び、感謝  
を献げたいと願っています。改めてご家族皆  
様のご理解とご協力に教職員一同、心より感  
謝しております。ありがとうございました。

また本日は多くの方々からお祝辞、慶びの  
声をいただいております。ひと言感謝申し上げ  
ます。一つだけ、本日は姉妹校、英和のお

姉さん、東京の東洋英和女学院でも卒業式を行っております。皆様と共に、東洋英和、山梨英和の姉妹校卒業生たちの上に神様の祝福をお祈りしましょう。

さて、今日はクラスメート、担任の先生とお別れの時ではありますが、互いに感謝を献げる時です。

ところが、実はこのひと月、特にこの一週間、私を驚かしたのは「来年の担任の先生は誰ですか」と迫ってくる皆さんの声です。もう耳にタコができるほど聞きました。先生方は「押し・アイドル状態」です。

私は半年以上前から先生方を見守り、教頭とも相談しながら決めていきます。この後に教室で発表がありますが、もう変えられませんが変えません。楽しみにして下さい。

そして式の最後には、本年度をもって退職される先生方をご紹介します。新しい先生は新年度になってから発表します。

今年皆さんへの最後の励ましは、まず一つの質問からです。

「礼拝堂の壇上には五つの席がありますが、どうして真ん中の席には誰も座らないのでしょうか」です。もう答えをわかっている方もいると思いますが、ヒントは他より大きい椅子です。実はいるんです。お化けではありません。そう目には見えない方です。ある英和卒業の先生は、礼拝堂正面頭上の十字架のシルエットは英和の守護天使だとも言っていました。これもヒントかもしれません。

そして英和生が綿々とお祈りの最後に「主が共にいてお守り下さい」の言葉で祈ることに答えがあります。

英和では毎朝、始業前、教職員が一同に会して共に讃美歌を歌い、交替して聖書を読み、お祈りします。その日々の積み重ねが英和の一年です。私たちはいつも私たちの真ん中にいて守り導いて下さる方を仰ぎ、学び続けています。

今年の聖句は「私はぶどうの木、あなたがたはその枝である。人が私につながっており、私もその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ」（ヨハネ15章5節）でした。

秋の全校修養会のテーマはそこから「豊かに実を結ぶ」でした。その案内に生徒会のある英和生が「ぶどうは一つの枝から三〜四房収穫することができると言われています。つまり、他のぶどうと共存していると言えます。自分だけが得をすることなく『隣人を愛す』、この教えにも繋がっている聖書箇所です」と書いていました。

主と共におられる英和生の皆さん、あなたがたが英和というぶどう園の豊かな実りなのです。当たり前毎日のように、私たちはその幸いに包まれて歩んでいるのです。その喜び、感謝を献げて、次のステージへ向かっていきましょう。

(しばらく黙想しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたは「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい」と励ましておられます。いま中学三年の、この一年の実りの時を迎え、悲しかったこと、辛かったこと、喜びもすべてあなたに献げます。どうか私たちの誤りを赦し、足りないところを補い、すべてをもってあなたの平和を実現するために用いて下さい。どうか新たな道へと進む級友、退職される先生方に祝福をお与えて下さい。そしてすべてをあなたに委ね、よき春休み、レントを過ごし、新年度、イースターを迎えることができますように。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

2025年3月19日

静岡英和女学院中学校・高等学校  
校長 大橋 邦一